

岩議発第199号
令和3年6月4日

岩倉市新型コロナウイルス感染症対策本部長
久保田 桂朗 様

岩倉市議会議長 伊藤 隆信

コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望

岩倉市議会は、新型コロナウイルス感染症対策支援特別委員会を開催し、「コロナ禍における女性の負担軽減」について協議いたしました。各委員から出された意見を集約し、議会として要望事項をまとめましたのでご査収の程、お願いいたします。

世界各国で、新型コロナウイルス感染拡大の影響により孤独や困窮状態にある女性が増加し、「生理の貧困」が問題となっています。「生理の貧困」とは、生理用品を買うお金がない、また、利用できない、利用しにくい環境にある事を指し、発展途上国のみならず格差が広がっている先進国においても問題になっています。「生理の貧困」の解消のために、例えばイギリスでは全国の小・中・高校で生理用品が無償で提供されていると報道されています。また、フランス、ニュージーランド、韓国なども同様の動きがあります。

この問題は日本でも無関係ではなく、先日、任意団体である「#みんなの生理」が行ったオンラインアンケート調査によると、5人に1人の若者が金銭的な理由で生理用品を買うのに苦労した、他の物で代用しているなどの結果が出ています。また、貧困で購入できないだけでなく、ネグレクトにより親等から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるとの指摘もあります。

このような状況を踏まえ、政府は「地域女性活躍推進交付金」に予備費から13.5億円を充てることを決定しました。岩倉市においても、誰一人取り残さない社会を実現するために、1日も早く、このような女性の負担軽減に取り組んで頂くよう以下要望します。

記

- 1 「生理の貧困」解消のため、防災備蓄用の生理用品を、市役所や保健センター等で設置又は、必要な方へ配布を検討してください。
- 2 配布に関してはプライバシーに配慮するなど、利用しやすいように、検討してください。
- 3 市内小・中学校の個室トイレや保健室に生理用品を設置する事を検討してください。